

女性ならではの 視点で船づくり

会社の姿勢

ダイバーシティ実現に向けて

業界屈指の自動化・ロボット化設備で VLCC はじめ超大型商船建造に邁進していますが、設計・製造をはじめ女性が進出して活躍できる分野が幅広く残っておりますので、ダイバーシティ実現に向けて今後一層拡充し、女性ならではの船づくりを目指しています。

取組事例

設計から製造まで女性の手で

●城戸さん（設計部電装設計グループ所属）

プログラミングの勉強に明け暮れ、造船業とは無縁だった学生時代。指導員や職場の先輩が造船の基本・知識や OJT 等で担当業務を指導した結果、入社3年目の現在、新造船の照明の設計、例えば配置や装備場所に応じた灯具の選定、電源計画や電圧降下の計算、電線の選定などを担当し、得難い人材として活躍中です。

苦勞して図面を完成させた時や、自分の案が採用された時は、やりがいや達成感を感じるとの事。

造船業界に同世代の女性はとても少ないものの、設計分野は特に女性だからこそその目線もあると考え、大切にしていきたい。

まだ10年先までは具体的に考えていないものの「今後入社する女性社員のお手本になれるよう、活躍の場を広げていきたい」と今日も笑顔です。

●古賀さん（2018年度新入社員・管理部総務人事グループ付）

スポーツで体を動かすことが大好きな新入社員。製造部門配属予定です。

初めて船に乗った時「人と車がたくさん乗っているのに、なぜ船は浮くのだろう？」と疑問に思ったことが入社のも動機ですが、現場には女性の技術者がまだ少なく、もっと増やしてほしい、と希望しています。

中には力が必要な仕事もありますが、お手本を見せていただいたり、細かく丁寧にアドバイスを下さる優しい指導員や先輩がたくさんいて充実した研修生活を送っています。

懸命に取り組んだ結果、最初は全くできずに悩んだ実習も、今ではアーク溶接の楽しさや、うまくできた時の達成感を感じるようになりました。現在、現場作業に必要な資格を勉強中で、試験に向けて頑張っています。「女性でも努力すればできるので、興味がある方はぜひ一緒に働きましょう！」



上司、先輩を交えた打ち合わせで積極的に発言中。



充実したプライベートもワークライフバランスがあってこそ！



同期達に囲まれて、コミュニケーションが大事です。

取り組んでいる会社の概要

ジャパン マリンユナイテッド(株)有明事業所

代表者：安部 昭則(常務執行役員有明事業所長)

所在地：熊本県玉名郡長洲町大字有明一番地

資本金：250億円

事業内容：船舶・艦艇・海洋浮体構造物等の設計、製造、販売等

従業員数：2000名

(平成30年6月時点)